

2024年8月28日

明治生命館竣工90周年記念 織作峰子写真展「刻^{とき}のきざはし」を
明治安田ヴィレッジ アトリウム・明治生命館で開催

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、保有する重要文化財である明治生命館^(注1)の竣工90周年を記念し、明治生命館を被写体とした写真展「刻^{とき}のきざはし」^(注2)を8月31日(土)～10月6日(日)まで開催いたします。



明治生命館は、昭和9年（1934年）に完成し、今年で竣工90周年を迎えます。戦後のGHQによる接收を経て、平成9年（1997）年には昭和の建造物として初めて国の重要文化財に指定されました。現在では重要文化財として維持・保存を図る一方、オフィスビルとしても活用しております。

この歴史ある建物の竣工90周年を記念し、写真家・織作峰子氏が撮影した明治生命館の写真を明治安田ヴィレッジ アトリウム、および明治生命館に展示いたします。1930年代に活用していたカメラで撮影し、織作氏独自の箔フォトグラフィ[®]^(注3)という手法を用いて、90年の時間経過を表現します。

写真展の開催にあわせ、明治生命館ではこれまで一般公開していたエリアに加え、未公開のエリアにも写真を展示し公開することといたしました。2023年に導入した織作氏による音声ガイドも引き続きお楽しみいただけます。

本写真展を通じ、重要文化財である明治生命館を広く知っていただくとともに、多くの方に明治安田ヴィレッジ^(注4)に足を運んでいただき、賑わいの創出および地域活性化に貢献してまいります。

（注1）明治生命館の詳細については、下記リンク（当社HP）をご参照

<https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/meiji-seimeikan/>

（注2）写真展のテーマ。階段を意味する「きざはし」という言葉により、90年の時間経過を階段の一段一段で表現

（注3）ユネスコ無形文化遺産に登録された日本伝統の縁付金箔や、純プラチナ箔・銀箔に写真を定着させる、織作氏が確立した写真現像の技法

（注4）「地元のひとが元気になる空間」をコンセプトに、当社の「健康」や「地域貢献」に関連したさまざまなコンテンツをつなぎ、ひととひとがつながる空間

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1



【写真展概要】

名称	明治生命館竣工90周年記念 織作峰子写真展「刻のきざはし」 ^{とき}
期間	2024年8月31日（土）～10月6日（日） 開場時間：アトリウム 10：00～18：00 （ビル開館時間中はご覧いただけます） 明治生命館 9：30～19：00
場所	明治安田ヴィレッジ アトリウム、明治生命館 （住所：東京都千代田区丸の内2-1-1）
入場料	無料

【写真展URL】

<https://www.myclaza.jp/lp/tokinokizahashi/index.html>

【写真家プロフィール】

織作 峰子（おりさく みねこ）氏：写真家。石川県出身。

1981年ミス・ユニバース日本代表に選出され、1982年より写真家・大竹省二氏に師事。1987年独立。世界各国の風景や人物を女性らしい視点でとらえ続け、国内外で写真展を多数実施。2018年・2021年・2024年には銀座・和光ホール（現セイコーハウスホール）にて展覧会を開催。海外政府観光局から依頼された撮影のほか、テレビ・雑誌、講演でも幅広く活躍中。（公社）日本広告写真家協会 業務執行常務理事。大阪芸術大学教授・写真学科学科長。2003年より、当社が開催する「マイハピネスフォトコンテスト」（2024年度より名称は「明治安田しあわせフォトコン」に改称）の審査員を務め、現在も継続

【明治生命館】

○竣工当時



○現在



以上